



大渦の絶景

春と秋の大潮時には渦潮の大きさが最大となり、直径30mにおよぶ。

「鳴門の渦潮」は、潮流や地形などのさまざまな要因が絡み合い発生する。太平洋側から満ちてきた潮は、紀伊水道で二手に分かれ、一方は鳴門海峡の南側で満潮をもたらす。もう一方は、大阪湾から明石海峡を通過して播磨灘に入り、約六時間遅れで鳴門海峡の北側に達し、満潮をもたらす。その頃には鳴門海峡の南側は干潮を迎えているので、鳴門海峡を挟んで満潮と干潮が同時に隣り合わせて存在するという不思議な現象が起これる。海水は高いところから低いところへ流れるため、海面の高い満潮側から低い干潮側へ激しい勢いで海水が流れ込む。

鳴門海峡の幅は、一・三キロメートルと狭いうえ、最狭部の海底はV字型で、水深約八十メートルにも及ぶ。干満差によつ

徳島県と淡路島の間にある鳴門海峡。その美しさは、古くから葛飾北斎や歌川広重などの有名浮世絵師によって描かれてきた。大潮の最大時には、潮流の速さが時速二十キロメートル以上になり、イタリアのメッシーナ海峡、カナダのセイモア海峡と並んで「世界三大潮流」のひとつといわれている。

類まれな自然美 鳴門海峡の渦潮

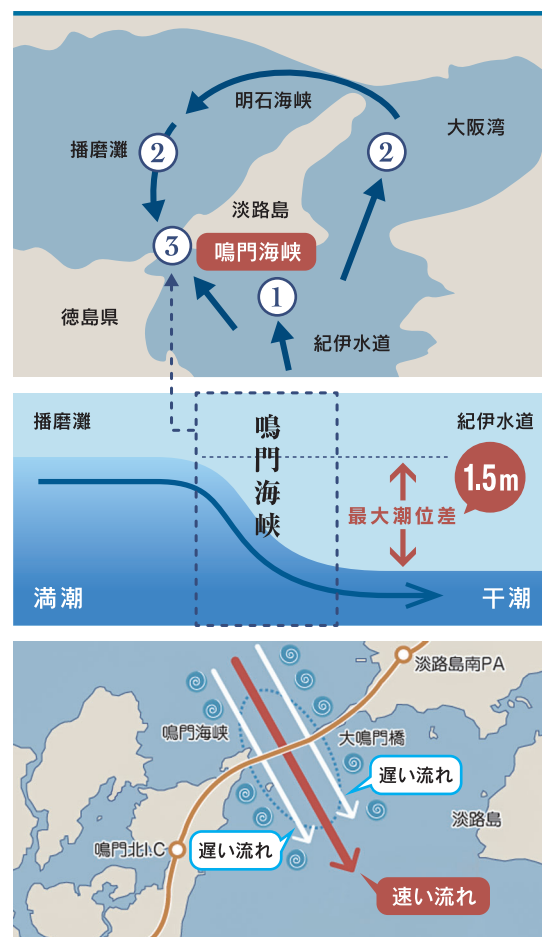
徳島県鳴門市



鳴門海峡では国内最速の11ノット(時速約20km)に達する速い潮流が発生する。



渦潮が発生する要因になる海水の動き



て発生する潮流が、最狭部で収束することとで強流を引き起こし、中央部を流れる速い流れと、その両側の遅い流れとの速度差で回転が生まれ、渦潮が発生する。これが世界最大級といわれる鳴門の渦潮発生メカニズムである。

渦潮はいつでも見られると思われていることも多いのだが、常時ぐるぐると渦巻いているわけではない。一日のうちわずか数時間、満潮と干潮の前後の時間帯にのみ見られる自然現象である。日によって干潮と満潮の時間も少しずつ変わるため、訪れる際は事前に鳴門市うずしお観光協会のウェブサイトで確認することをおすすめする。

ちなみに、一年のうち一番大きな渦潮が見られるのは、春分の日と秋分の日。前後数日だそう。この迫力ある渦潮を船上から楽しめる観潮船が運航されているので、乗船をおすすめしたい。冬は空気が澄んでおり、海に浮かぶ島の風景も鮮明に見え、霞の出やすい夏は白く霞む幻想的な風景に出会える機会もあるという。訪れるたびに鳴門海峡は違った表情を見せてくれることだろう。

また、海峡に架かる大鳴門橋では、真上から渦潮を見学することもできる。橋桁内に設置された全長四五〇メートルの遊歩道「渦の道」の海上散歩を楽しんでみよう。遊歩道の壁のほとんどが吹き通しになっているため、潮風を感じながら波音を聞いていると、屋外を歩いているような感覚だ。終点の展望室の眺望ガラ

ス床から四十五メートル下の渦潮を覗くと、渦の中に吸い込まれそうでスリル満点である。ただし、高いところが苦手な人はご注意ください。

「渦の道」に来たら立ち寄ってほしいのが、すぐ近くにある「大鳴門橋架橋記念館エディ」。渦潮と橋をテーマにした体験ミュージアムで、子どもから大人まで楽しみながら学べる施設となっている。屋上から大鳴門橋や鳴門海峡が見渡せるので、渦潮を別の角度から眺めてみるのも面白いだろう。

この大鳴門橋、周辺の人々から「夢の架け橋」と呼ばれた悲願の橋である。鳴門海峡に橋を架ける構想は、大正時代からあったそう。当時の日本には橋をつくる技術がなく、お蔵入りとなり、戦後に立ち上がった工事の計画も、何度も練り直されたという。オイルショックによる工事凍結など紆余曲折を経て、約九年の歳月を費やして一九八五年に橋はようやく完成した。

大鳴門橋は、渦潮を守ることを大前提に建設されている。海中に一本の大きな柱が立つと潮流が変わり潮の流れに影響するため、主塔を支える基礎は、海中深く何本もの柱を立てる多柱基礎工法という特殊工法が用いられている。それによって自然の産物である大きな渦潮が守られているのだ。

いるといわれている。太平洋と瀬戸内海を結ぶ海域には多様な魚種が集まりやすく、豊かな海の恵みを私たちは享受している。近年「鳴門海峡の渦潮」の世界遺産登録を目指す活動が進められているそう。持続可能な観光と地域の保全に努め、次世代に美しい自然を引き継ぐ使命を肝に銘じたい。



渦潮を間近に体験「観潮船」

渦潮をゆったり見たいなら「大型観潮船 わんだーなると」海中の渦が見られる「小型水中観潮船 アクアエディ」

うずしお観潮船(鳴門観光汽船(株))
 徳島県鳴門市鳴門町土佐泊浦字大毛264-1 TEL 088-687-0101
 営業時間/8:00~17:00(最終便 わんだーなると16:20出航
 アクアエディ16:15出航)・年中無休
 料金/わんだーなると 大人1,800円・小学生900円(一等2階は追加料金)
 アクアエディ(要予約) 大人2,400円・小学生1,200円

渦潮を間近で体験するなら**小型高速観潮船(株)うずしお汽船**
 徳島県鳴門市鳴門町土佐泊浦字福池65-63 TEL 088-687-0613
 営業時間/8:00~17:00(最終便16:30出航)・年中無休
 料金/大人1,600円・小学生800円

「渦潮を学べる施設」

大鳴門橋架橋記念館 エディ
 「4K360°シアター」や「LEDデジタルアート」などの体験型アトラクションや展示で渦潮の迫力を体感でき、屋上展望台からは鳴門海峡が一望できる。

徳島県鳴門市鳴門町(鳴門公園内)
 TEL 088-687-1330
 開館時間/9:00~17:00(最終入館は閉館の30分前まで)
 (GW・お盆...8:00~18:00 夏休み...9:00~18:00)
 年中無休・有料駐車場あり
 入館料/大人1,130円・中学生820円・小学生520円



ウチノ海の蛇口

鳴門スカイラインにある堀越橋からの景色もおすすめ。堀越海峡は幅が非常に狭く、小型船舶では遊ることすらままならない激しい潮は、「ウチノ海の蛇口」とたとえられる。穏やかな湖のような「ウチノ海」は絶好の漁場として有名で、釣り用のいかだが無数に浮かぶ独特の景観が楽しめる。

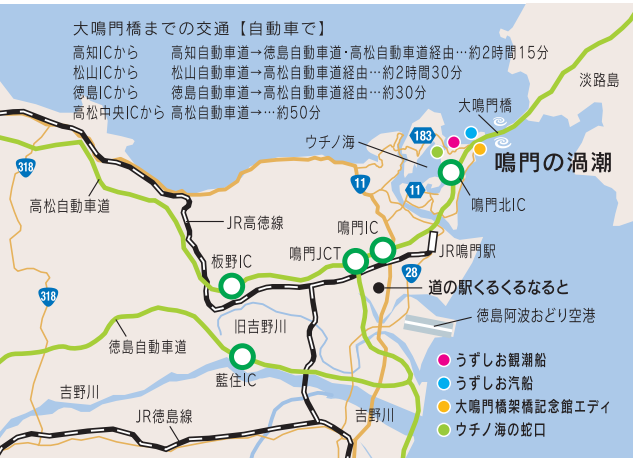


お立ち寄りSPOT

道の駅 くるくるなると

鳴門の自然の恩恵を受けて育った魚、水産物、農産物など「地域特産物」をテーマに、農産物マルシェや名産グルメ、スイーツを楽しめる。また、屋上ジップラインや屋上デッキ、レンタサイクルも設置。魅力あふれる鳴門を家族で楽しめる「体験型食のテーマパーク」。

徳島県鳴門市大津町備前島字蟹田の越338番地1 TEL 088-685-9696
 営業時間/9:00~17:00(時期に応じて変動あり)・年中無休・無料駐車場あり



グルメ gurume

道の駅やお食事処では新鮮で豪快な鳴門ならではの海の幸を堪能できる



刺身盛り合せ 天ぷら 炊き込みご飯 伊勢海老と鳴門わかめの味噌汁

おみやげ omiyage

鳴門の恵みを活かしたおいしい商品がいっぱい!



鳴門金時のほっこりポタージュ 鳴門ほれほれプリン ほっこりおいしいのスイーツポテト 鳴門金時焼き芋焼酎 鳴門わかめ